



# 「活きていることわざ」

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 市議会報告

【事務所】船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117  
Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp  
ホームページ <http://www.hiroei.jp>

## 呆(あき)れが礼に来る・雨垂(あまだ)れ石を穿(うが)つ

【呆れが礼に来る】◇呆れ返って、その上おつりが来る。たいそう呆れること。

【雨垂れ石を穿つ】◇微力であっても、根気よく続ければ大きな成果を上げられる。

第3回定例会が9月26日に閉会しました。私たち会派と民主党会派が出した「議員定数を5人削減して45人とする条例」が、賛成10人の《圧倒的》少数で否決されてしまいました。人口は本市は約62万人ですが、約100万人の千葉市は、今夏、54人から50人に《圧倒的》多数で可決しました。また、近隣市なども削減しました。経済状況が好転しない今、議員が率先し経費削減を図る必要がある、という我々の主張も、それに反対する議員に鼻で笑われる感じでした。議員誰も自己保身したい気持ちはあるでしょうが、『呆れが礼に来る』この経緯はまた書きます。今号は私が行った質問から掲載します。



### 皆さん知ってましたか？

①国道や県道などの大きな道路には、自動車などが走行する際の最高速度の標識があり、これをオーバーして走行すると「スピード違反」でキップを切られたり反則金を納付しなければなりません。

今回、地域のある町会長が、飯山満小学校近くの道路をスピードを出して運転する車に「危ない」と注意したところ、「ここは標識がないから50キロでいいんだ」と言われ口論となったそうです。その後近くの交番に行って確認したところ、二人の警察官がいて、ひとりは「30キロだ」と言い、もうひとりは「黄色や白色の中央線のない道路は60キロ」ということで、何が正しいのか確認して欲しい、ということでした。それを受けて質問しました。

#### — 道路部長の答弁 —

自動車及び原動機付自転車が、最高速度の指定されていない道路を通行する場合、高速自動車国道の本線車線以外では、中央線の有無や識別にかかわらず、自動車にあっては60キロメートル毎時、原動機付自転車にあっては30キロメートル毎時と、道路交通法及び同施行令で定められています。

なお、警察に確認したところ、飯山満小学校前の道路については、最高速度が指定されていませんが、60キロで走ってください、ということではなく、このような地域住民の日常生活に利用されるような生活道路においては、道路の構造や沿道状況に配慮した安全運転に努め



て欲しい、とのことでした。

②また、通学路に指定されている道路は何キロ制限か聞きました。

— 道路部長の答弁 —

通学路の指定は、その道路をある一定の人数以上の小学生が通学で利用することで指定しておりますので、通学路ごとに最高速度は異なっています。



安全通学をお願いします

③生活道路に20キロや30キロの速度制限の標識を設置すべきと考える。警察と協議を進めるべきでは、と聞きました。

— 道路部長の答弁 —

警察庁は、生活道路の規制速度について、原則30キロの方針を決めており、その対象とする道路を住民や道路管理者などの意見を十分に踏まえ、速度を抑えるべき道路を選定すると言っています。

また、生活道路における安全対策としての速度制限については、個々の路線ではなく、一定のエリアで最高速度を30キロとする「ゾーン30」が警察より提案されています。「ゾーン30」は、最高速度を指定するだけでなく、歩行者などの通行が最優先され、通過交通が可能な限り抑制されるという概念としています。

地域住民の方々の合意形成が図れば、指定について警察と協議していきます。

と、なんだか分かりにくい表現の答弁でした。持ち時間の関係で、これ以上突っ込んだ質問ができず、次回以降に再度行います。

ここではっきりしたのが、

- ①学校周辺や生活道路などは、車が60キロで走行しても違反とならない。
- ②通学路に指定されている道路は、通学路ごとに最高速度が異なっている。
- ③地域住民の合意が図れば、一定のエリアで最高速度を30キロにでき、通過交通を抑制できるという「ゾーン30」とすることが可能である。

ということです。そんな危険な道路を、子供達が毎日通学し、私たちが毎日生活道路として歩いていたのです。大きな事故が起こる前に、道路部や所轄警察署と相談し、かつ地域での合意を図っていきたいと思います。このことは、毎朝の通学時間帯に、進入禁止の標識を無視して入ってくる多くの車両にも影響を与えるはずで、『雨垂れ石を穿つ』是非応援してください。

さて、船橋市議会では、10月27日から4日間「決算特別委員会」が開催されます。この特別委員会は13名で構成され、平成25年度の決算について審議するものです。私は、この委員に進んで手を挙げました。



というのも、議会の行われる本会議場の改修工事に関して大きな疑問点があるからです。その他にも市民の皆様には範を示すべき議員が、率先して無駄遣いをしているのでは、ということが沢山あります。これらを中心に徹底的に質疑するつもりです。